

女子ボクシングミドル級 石井 智紋 (ボクシング部コーチ)
自転車BMX 高橋 堅太 (健康スポーツ科学科2年)

福山平成大学から ロンドン五輪強化選手2名!!

福山平成大学
学 報

第53号



miyuki letter

みゆきレター

Fukuyama
Heisei
University

本学、ボクシング部コーチ石井智紋さん(大学院スポーツ健康科学研究科修士)が女子ボクシングで、健康スポーツ科学科2年 高橋堅太さんがBMX(バイシクルモトクロス)で2012年開催のロンドンオリンピック強化選手として選ばれ、現在、練習に励んでいます。

石井さんは、学生時代、陸上競技部に所属しており「天皇賜杯第76回日本学生陸上競技対校選手権大会」の「円盤投げ」に出場し、準優勝、さらに「第91回日本陸上選手権大会」では、4位の好成績を修めた実績があります。在学中のボクシングの授業でボクシング部顧問の石橋准教授から誘われ、ボクシングを本格的に始めました。石井さんはミドル級でタレントの山崎静代さんと同階級。現在、来年の日本選手権大会、世界選手権大会に向けて、猛特訓中です。

高橋さんは、幼少時代から15年間レーサーとして競技に参加しています。昨年、国内レースでは、年間ランキング1位。来年7月までの国際レースで実績を残せば、オリンピックの出場権が得られます。高橋さんは、現在、本学のスポーツ科学科に在籍しており、BMXの競技に必要なトレーニングを専門的に学んでいます。

ロンドン五輪目指し、技を磨く二人。中国新聞に紹介されました。

中国新聞 2011年(平成23年)6月27日(月曜日) 東 地

福山平成大の2人 強化選手に

ロンドン五輪に挑む

自転車BMX 2年高橋さん

「BMXで空が飛べからっぽになる」と魅了する。時速50kmで走り抜ける。大空へ飛び上がる。昨年、日本BMX協会高橋さんは笠岡市のかき公認の国内レースでは年間ランキング1位。来年7月までの国際レースで実績を残せば五輪出場権が得られる。高橋さんは中国と韓国でのレースにも出場した。選征費はアルバイトの収入とを切り開く決意は強い。

ボクシング部の女性コーチ石井さん

燃える闘志「絶対負けぬ」

人だいた。高い可能性を前に「絶対負けぬ」と燃える石橋勇准教授と闘志を燃やす。同大の3年生の時、日本陸上競技選手権の円盤投げで4位に輝いた。今春からは、ボクシング部のコーチを務める。高い身体能力は同大のボクシングの授業で磨かれた。ボクシング部顧問で女子ナショナルチームのコーチも務める石橋勇准教授と闘志を燃やす。同大の3年生の時、日本陸上競技選手権の円盤投げで4位に輝いた。今春からは、ボクシング部のコーチを務める。高い身体能力は同大のボクシングの授業で磨かれた。ボクシング部顧問で女子ナショナルチームのコーチも務める石橋勇准教授と闘志を燃やす。

左足を突き出す石井さん「もっと踏み込んでスピードを上げたい」

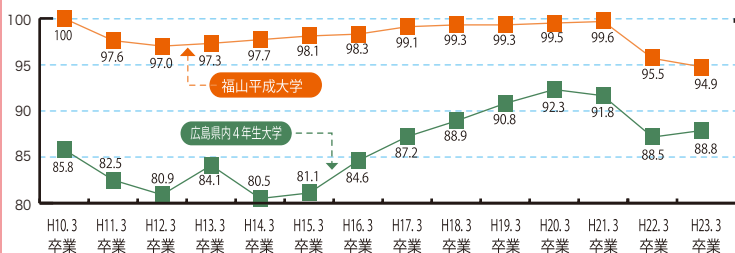
動画は中国新聞H2D 読者会員限定

早めの準備が就職戦線に勝ち残るカギだ!

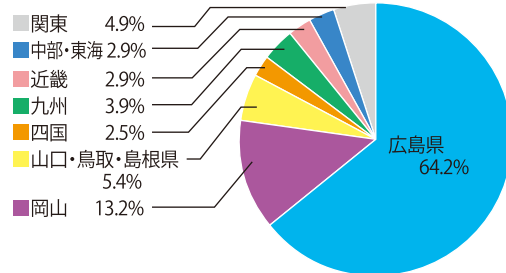
平成23年3月卒業生

就職内定率 94.9%

就職実績の推移



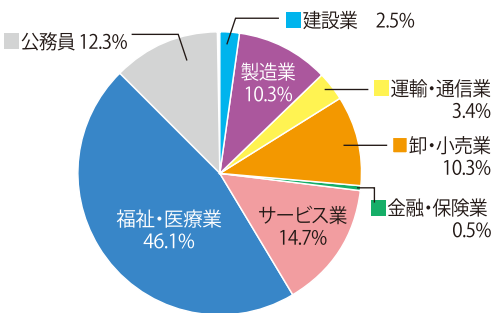
本社所在地別就職状況
H23年3月卒業生実績



学部別・業種別就職状況
H23年3月卒業生実績

	経営	福祉	健スポ	看護	合計
建設業	2	1	2	0	5
製造業	11	1	9	0	21
運輸・通信業	1	1	5	0	7
卸・小売業	6	2	13	0	21
金融・保険業	0	0	1	0	1
サービス業	9	7	14	0	30
福祉・医療業	1	37	10	46	94
公務員	1	2	11	11	25
	31	51	65	57	204

業種別就職状況
H23年3月卒業生実績



1、流動的な就職環境

回復の兆しが見え始めた就職環境も東日本大震災の影響でその見通しが立ち難くなり、平成24年3月卒業予定の就活生は不安を抱えながら就職活動に取り組んでいます。

震災後の企業の活動状況を見てみると、採用数に大きな変化はなく大手企業は概ね業界毎に選考開始時期が分散化している模様です。特に、中国地区の企業については、一部の大手企業を除きほぼ日程の変更をせずに選考に進んでいるようです。

こういった中、学生の動向はと言いますと、エントリーは大幅に減少したまま企業へのアプローチが進んでいない状況が見えます。これは、既にエントリーしている企業の結果待ちで「まだ選考機会が残っている」という甘い考えを持っているからだと考えられます。反面、企業スタンスはリマンショック後の厳しい就職環境を反映したままの状態が続いています。つまり採用枠を満たすために採用基準を下げるといったことは行わず、「質重視」という採用方針がより顕著になってきており、選考期限が過ぎてしまつと採用予定数に満たなくても本年度の採用選考は終了ということになり、「まだチャンスはある」と思っていた学生は、アタフタする羽目に合う可能性があります。

特に地方の学生は、都心の学生に比べて例年1〜1.5ヶ月程度出足が遅いといわれている現状からして、ボヤボヤしていると更に置いて行かれる懸念が生じる可能性があります。

『もともと危機意識を持って就活に取組みましょう!』

自分が目指す就職先の内定を確実にするには、入学時から将来を意識し、しっかりした職業観を持ちながら大学生活を送るのは勿論のこと、自分の可能性を広げ企業とのミスマッチを生じさせないよう、学

生は幅広く業界研究を行い、そして、仕事に対する姿勢や情熱を感じながら働くことの大切さを学んでいくことが必要です。そのためには「就職課が主催する各ガイダンスに必ず出席し、就職活動の全体イメージを掴むこと」と「就職活動は情報収集からスタートする」という意識が絶対必要なのです。

2、Webを活用した情報提供（学生支援総合システム）を有効利用しよう!

本学では、平成21年度と平成22年度に文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業（学生支援推進プログラム）」の補助金を受けて、「学生支援総合システム」を構築し本年度の4月に本格的に稼働しました。このシステムは「履修指導システム」、「就職履修カルテシステム」及び「就職支援システム」から構成されており、学生個々人の「学業成績データ」や「進路希望データ」等に基づき、教職員がより一層きめ細やかな履修・修学指導と就職支援を行うことが可能となりました。

特に「就職支援システム」では、学生に入学時から進路希望をWeb入力させるとともに、就職特別講座やキャリアガイダンス情報等をWeb配信したり、また、3年生後期からは求人情報をメール配信しています。加えて、学生本人から入社試験の現況並びに結果報告をWeb入力させることにより、学生本人と教職員が共有する情報に基づき、進路が決定されるまで就職支援ができるような指導・相談体制を電算化を通して実現しています。

（上記「就活スケジュール」を参照）

また、この「就職支援システム」では前述以外の機能として、本学に求人をご寄せされた全ての企業情報や求人内容が閲覧でき

就活スケジュール

(看護学部は概ね大学4年生からが実質の就活開始となります。)

	大学3年生									大学4年生				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
「学生支援総合システム」の活用：1・2年生は毎学年始めに、進路希望情報の登録・見直しを行うことにより、学生の進路に合ったキャリア教育情報を配信し、学力と技能を向上させ、3・4年生の就職活動に繋げる。														
学校行事	《就職ガイダンス》							大学主催合同企業説明会						
就活スケジュール	前期試験									後期試験				
	自己分析・情報収集													
	業種・業界研究													
	インターンシップ・実習参加				企業研究									
	【就活のピーク】										就職イベント・合同企業説明会に参加			
											興味のある企業の個別説明会に参加			
											筆記試験・面接			
											内々定			
	倫理憲章 【2012年卒】					広報活動						採用選考活動		
倫理憲章 【2013年卒】					短縮		広報活動						採用選考活動	

「企業検索」「求人検索」等の機能の他、「卒業生情報」並びに先輩達が就活体験してきたその企業の「活動報告」等、多くの情報が閲覧可能となっています。

当然のことながら、このシステムの運用と有効活用は今の学生が如何に登録を行い活用していくか、そして、後輩達にその蓄積したデータベースをいかに引き継いでいくかにかかっていますので、必ず情報を登録し活用するようにして下さい。この情報をうまく利用すればいくらでも有効な就職戦線に勝ち残る力ギともなるはずですので、しっかりと活用して下さい。

3、就職試験対策は「就職ガイダンス」で！

① 筆記試験対策

筆記試験としては、通常、一般常識、適性検査(SPI等)の試験が実施されます。苦手意識から後回しになりがちですが、練習した分だけ確実に得点がアップし、問題集を解けば解くほど、ライバルとの差を広げられる試験です。100点満点を取るに越したことはありませんが、そこまでは必要ありません。平均点が十分です。門前払いに合ってしまったら話になりませんので、必ず実力を付けておきましょう。

② 面接試験対策

面接試験で必ず質問されるのが、「学業以外で何か打ち込んだものがありますか」です。自ら目標を定め、努力挑戦して成果を上げ、何かを身につけた学生を採用担当者には求めています。また、当該企業に熱意と本気を持って挑戦(エントリ)し、「会社に入ったら何をやりたいか」が熱く語れるかが内定獲得への大きなポイントとなります。そのため、事前に企業研究や調査が絶対必要です。面接時に前日一生懸命暗記していた内容をスラスラと間違えずに言えたかが問題ではなく、少々間違ってもいいから、自分の言葉で熱く本気モードで語れることが必要です。

③ 資格取得

資格取得も面接対策の一つとも言えます。「私は自分で立てた目標に挑戦して、必ず達成します。例えば、3年生の11月に日本漢字能力検定試験3級に合格し、4年生の7月には更に勉強して2級に合格しました。」という風に、目標にチャレンジし成し遂げる能力があることをPRできるので、

一方、資格の中では、特に「日本漢字能力検定試験」が就職の筆記試験でかなり役に立ちます。その問題の内容がよく似ているからです。

また、「パソコン検定」も就職には有利です。現在では、どんな仕事に就いてもパソコンが使えないと仕事になりません。事務職を希望する学生はもうろんのこと、営業職を希望する学生でも、エクセル、ワード、表計算を自由に使えるレベルにはなっておきたいものです。この二つの資格取得には本学でも力を入れており、学内で受験できますので、是非チャレンジして下さい。

⚠️履歴書の資格欄に普通自動車運転免許しか書けない学生は、魅力がないですよ!!⚠️

以上、就職試験対策の一部をご紹介しましたが、その他に就職課では「就職ガイダンス」を主に3年生を対象に年間30コマ程度開催しています。働くことの意識付けから始まって、自己分析やコミュニケーション能力のトレーニング、そして、各種模擬試験や模擬面接、就職体験発表会、企業講演会等あらゆるガイダンスを実施しています。こういったガイダンスに積極的に参加し、ノウハウを吸収した学生は必ず就職戦線に勝ち残っていくものと確信しています。

働くことの大切さを学び、自分の夢を実現させよう！

経営学科 1年 福田 美咲



入学後間もなく行った合宿は、少し人見知りをする私には辛い面がありました。しかし、最初は全く話をしなかった人と話したり、会話をしてみると最初の印象とは違っていたりなど、普段の学校生活では出来ないことが少し出来るようになりました。

2日目のオリエンテーションでは、途中で迷子になりました。山中を歩いていた時に、「だいたい」「うぶ」「がんばろう」と声をかけ合い、皆で協力し合ったことは忘れられません。結局、リタイアという形になったのは残念でしたが、私たちの班は他のどの班よりも絆が生まれたのではないのでしょうか。

学校に着いた時「バイバイ」や「また明日」という言葉を私は何人にも言ったのか覚えていない程、友人が増えました。疲れた事も辛かった事も今では大切な思い出です。この思い出は10年後も20年後も忘れる事はないと思います。

福祉学科 1年 吉井 鮎美



私たち福祉学科は、オリエンテーションキャンプとして福山市にある「ふくやまふれ愛ランド」に行きました。大学生活というだけでドキドキですが、私はそれにプラスして愛媛県から一人で福山市にやってきたので、不安は測り知れないほど大きなものでした。しかしその反面、友だちを作れるチャンスだという気持ちもあってワクワクしていました。

まずは、自己紹介から始まりました。その時は漠然と趣味と名前を聞いていただけでしたが、交流が深まるにつれてその人の特徴が分るようになっていき、「そう言えば、この子の趣味はこうだったな」とか、「好きなアニメはこれだったな」などと認識できるようになりました。

行きのバスの中では、初めて友だちができました。このときの三人が今の私の「いつメン」です。一緒にいても楽しい仲間です。このオリキャンがあったからこそ、毎日笑顔で今大学生生活を送れているのだと思います。

こども学科 1年 花本 知佳



4月11日、12日で新入生オリエンテーションキャンプへ行ってきました。

まずバスで会場へ向かい、バスの中でゲームや、その後の自己紹介やドッジボール、バレーボールなどのレクリエーションのおかげで、話した事のない人とも自然に会話が弾み、また一気に関わりが増えました。

2日目のお昼は野外炊事でカレーを作りました。小学生以来でしたが、前日のレク等で仲良くなっていた班だからこそ協力し合い、とても美味しいものを作る事が出来ました。

また、合宿中には履修相談の時間もあり、自分で時間割を組むという初めての経験に不安だらけだった私達に、先輩方がたくさんアドバイスをくださいました。

とても楽しいこの合宿を計画してくださった先生方や先輩方に感謝して、これからの大学生活を充実したものにしていきたいと思っています。

健康スポーツ科学科 1年 中藤 佳奈



オリエンテーションを終えて、振り返ってみると、初めての集団生活を皆で協力して、乗り切ったことで、たくさんの方の友達と良くなる事ができました。これは、先輩方が長い時間をかけて企画して下さったお陰だと思っています。この経験は、今後の大学生活に始めるにあたってとても良いスタートになりました。



宿泊先では、先輩方や部活の方が食事の準備をして下さったり、自分たちを大きな声でリードして下さいました。1泊2日がスムーズに行動でき、とても学ぶところがありました。また、今回の合宿では、1年生がルールを守れず、全体の行動が遅れた場面があったので、それぞれがこれまでの部活動の経験などを生かして、自分の判断を正しくできるように生活していきたいと感じました。

今回の経験を通して、これから大学4年間を1日1日大切に、素敵な先輩方を見習って生活していきたいと思っています。

看護学科 1年 安部 幸江



私は今回の合宿オリエンテーションに参加し、三つの「わ」を達成することができました。

一つ目は「話」である。これは自分から積極的に話しかけるという意味での「話」である。私は県外出身ということもあり、最初は知り合いが誰一人もないというところからのスタートだった。そのようなこともあり、合宿オリエンテーションは憂鬱で仕方がなかった。ところがオリエンテーションでは決められたグループでの活動が多く、自分から話しかけていかなければならなかった。緊張しながらも声をかけると、誰もが嫌がらず笑顔で話してくれ、それがきっかけとなり、かけがえのない多くの友人をつくる事ができた。

今までは誰かが話しかけてくれるまでずっと待っていた私にとって、自分から二歩を踏み出したことは、自信につながったと思う。

二つ目は「和」である。どんなにたくさんの友人をつくっても、「一緒にいて落ち着くことができ、心を開くことができない」ならば、かえって辛い思いをすることもある。オリエンテーションの初日は正直なところ愛想笑いがほとんどであった。良い印象を持ってもらうことが本当に集中していた、ところが二日間グループのメンバーと生活し、様々な活動を通して冗談を言いあったり、お互いのことをよく知りあうことができた。二日間にもなるとメンバー一人一人がとても和めているように思えた。

最後の「わ」は「輪」である。私がこのオリエンテーションを通して一番思ったことはグループ、クラス、学部全体で協力しあい、一つになることができたということである。特にウォークラリーでは、疲れている友人を気づけたり、メンバーで役割を決め、協力しているチームが多くあった。私自身も、自分のことばかりでなく、チーム全体を見ながら行動していくことを学んだ。また一日目の夜に行われたキャンドルサービスでは、全員で蝋燭を持ち、一つの輪になった。その時、本当にこのメンバーで四年間を同じ夢に向かっていくのだということを実感した。

今回の合宿で、百人近くもいる看護学部のメンバーを仲間だと改めて感じ、またこれから始まる大学生活への期待を持つことができた。四年後、同じメンバーで夢を叶え、卒業できるよう支え合っていきたいと思う。

福山平成大学教員の研究開発の方向・成果を地域社会に広く公開し、地域の事業並びに生涯学習の一つとして市民生活の充実・発展に資する。

■講座の概要

3月11日に発生した東日本大震災は、巨大津波、原発事故が加わり未曾有の惨禍をもたらしました。それにもかかわらず被災地では、多様な形で絆が形成され、悲しみを心の奥に、立ち上がる人々の姿が数多く見られました。その過程に希望を見ることができるよう思います。そもそも万全な備えといったものがあるのかとも思いますが、東日本大震災は、私たちにあらためて危機への備えの一方で希望の問題を考えさせました。私たちは、いろいろな危機とともに日常を生きているといっても過言ではありません。今年の公開講座では、東日本大震災を機に、さまざまな場、領域でみられる危機の問題と希望をいかに紡ぐかの問題について、考えてみようと思います。

現代はコンピューターが社会に深く埋め込まれています。しかし、コンピューターは完全無欠でなく、誤動作などで人間が危機にさらされる場合もあります。今年の第1講は、悪意ある攻撃の脅威からどう身を守るかなど、安全な情報化社会についてお話しします。オリンピックは、スポーツを人類共通の文化にすることに大きく貢献してきました。しかし、現在、さまざまな問題（危機）を抱えていることも否定できません。第2講では、原点から見たオリンピックの可能性について考えます。私たちは、多くのストレスを抱えながら日々を過ごしています。老化も人生の中ではストレスと捉えることができます。人生（老化）の危機を上手に乗り越える生き方について考えるのが、第3講です。一方、人間関係のストレスは、全ストレスの大半を占めると言われています。第4講では、人間関係に起因するストレス＝心の危機、を乗り越えるためにはどうすればよいか、についてお話しします。東日本大震災の被災地では多くのボランティアが活動していますが、実は、わが国では、大正12年の関東大震災時に、歴史に残る組織化されたボランティア活動が展開されていました。今年の公開講座の最後は、「危機から希望へ」と題し、これまで危機にあって展開されてきたボランティア活動を検証し、日本人の「底力」についてみなさんと一緒に考えます

回	開催日	講座名	講師名
①	9月15日(木)	「強い」コンピューターをめざして ～安全な情報化社会を作るために～	経営学科 川久保和雄 教授
②	9月22日(水)	オリンピックの原点から見たオリンピックの可能性 ～スポーツを通じた人間形成と他者理解～	健康スポーツ科学科 都筑真 講師
③	9月29日(木)	人生（老化）の危機を乗り越える	看護学科 谷田恵美子 教授
④	10月6日(木)	ストレスから心を守る ～人間関係とストレスの行動科学～	こども学科 大西理恵子 講師
⑤	10月13日(木)	危機から希望へ ～歴史から学ぶボランティアと日本人～	福祉学科 大深俊明 准教授

日時・会場	【日時】全5回(9月15日、22日、29日、10月6日、13日) 【会場】福山平成大学 7号館7103教室／18:30～20:00
申込	【期間】8月1日(金)～9月9日(金)
申込方法	受講申込ハガキに所要事項を記入の上、郵送又は持参
受講対象者及び定員	一般市民 250名
受講料	無料
受講証	5講座中4講座以上の受講者に受講証を授与
申込み先	【庶務課】〒720-0001福山市御幸町上岩成正戸117-1 Tel:084-972-5001(代表) Fax:084-972-7771

第1回

「強い」コンピューターをめざして ～安全な情報化社会を作るために～

9月15日(木)
川久保 和雄 教授
(経営学科)

現代は高度情報化社会と呼ばれ、コンピューターが社会のインフラとして、深く埋め込まれています。もはやコンピューターなしでは、社会全体が機能しません。しかし、コンピューターは完全無欠ではなく、故障することもある、悪意のある攻撃を受けることもあります。また極端な場合、誤動作や設計ミスで、人間が危険にさらされることさえ考えられます。この講座では、そのような弱点をいかに克服して、「強い」コンピューターを作り上げているのか、また悪意ある攻撃の脅威からどう身を守っていくのか、などについて、わかりやすく説明します。

第2回

オリンピックの原点から見たオリンピックの可能性 ～スポーツを通じた人間形成と他者理解～

9月22日(水)
都 筑 真 講師
(健康スポーツ科学科)

オリンピックはこれまで、スポーツの世界規模での普及・拡大を促し、スポーツを人類共通の文化にすることに大きく貢献してきましたが、過度の商業主義、ドーピング使用にまで至る過剰な競争、国威発揚の手段化など、現在のオリンピックは様々な問題を抱えており、オリンピックのあり方そのものが問われています。しかし、オリンピックはスポーツによる、より良き社会の構築を企図して復興されたものなのです。本講義では、オリンピックを復興したフランス人ピエール・ド・クーベルタン（スポーツを通じた人間形成と他者理解）を紐解きながら、より良き社会を構築するオリンピックの可能性について考えていきたいと思います。

第3回

人生（老化）の危機を乗り越える

9月29日(木)
谷田 恵美子 教授
(看護学科)

私たちは、日頃から多くのストレスを抱えながら、日々を過ごしています。ホルムスら（1967年）は一生で生じるストレスを社会適応尺度であらわし、配偶者の死を100、結婚を50、同居家族数の変化を15と述べています。日々の生活を難なく過ごすためには、上手にストレスと付き合うことが必要です。マイナスのイメージはプラスへ変えたいかがでしょうか。老化も、人生の中ではストレスと捉えることができます。50歳を超えると老化を感じるようになります。アンチエイジングが叫ばれ、健康器具・健康食品が多く出回っています。老化を受け止めつつ、上手に生きていく方法はないでしょうか。

第4回

ストレスから心を守る ～人間関係とストレスの行動科学～

10月6日(木)
大西 理恵子 講師
(こども学科)

「ストレスを感じたことがない」という方は、どれくらいいらっしゃるでしょうか。私たちの多くは、日々様々なストレスに悩まされています。特に人間関係のストレスは、全ストレスの大半を占めると言われるほどに私たちの心の健康に大きな影響を及ぼします。例えば、友人、職場の同僚、親と子、家族、地域……。この社会で生きていく限り、人間関係に起因する葛藤は避けようがないものです。では、このようなストレス＝心の危機をうまく乗り越えていくためには、どうすればよいのでしょうか。本講座では、ストレスのしくみについて学び、上手な対処法とストレスをためないコミュニケーションのコツについて考えます。

第5回

危機から希望へ ～歴史から学ぶボランティアと日本人～

10月13日(木)
大深 俊明 准教授
(福祉学科)

東日本大震災では、多くの犠牲者と甚大な被害を出すという事態に直面しました。そして多くのボランティアたちが全国から集まり、復興への足がかりを築いています。ボランティアと言えば1995年の阪神淡路大震災が代表的ですが、わが国ではそれよりずっと以前、1923年（大正12年）の関東大震災において、歴史に残るような組織化されたボランティア活動が展開されています。また、1997年の「ナホトカ号重油流出事故」においても、多くのボランティアの手で最悪の海浜汚染から脱した事実もあります。この講座では、これらの事実を検証しながら、危機に挑む日本人の「底力」について考えてみることにします。



次回(平成24年2月)に開催予定です。詳しい情報はホームページに掲載しますので、ご覧ください。

して暮らし続けられるようにすることは大切な福祉課題です。高校生、大学生という以前に一人ひとりが地域の住民であるという意識をもって、講師(キヤバンメイト)のグループホーム・オリーブハウス所長小林由卓さんのお話を聞きました。

交流会の後半はシグマソサエティのメンバーが講師になり、4つのテーブルに分かれてバールンアート作りを楽しみました。初心者の方が多かったのですが、既に経験のある高校生も数名いて、それぞれ

福祉学科

第2回高校生ボランティア交流会

福祉学科 准教授 中司 登志美

2月26日(土)に、ボランティア活動に関心のある高校生が集まって、本学のボランティアサークル「シグマソサエティ」のメンバーと交流をする「高校生ボランティア活動支援交流会」の2回目を開催しました。今回は、福山市保健所のご支援を得て参加者全員が「認知症サポーター養成講座」を受講し、参加した高校生23名、ボランティアクラブ顧問の先生2名、大学生13名が修了証に当たるオレンジリングを手に入れました。超高齢社会に突入した日本において、増加している



出来だったように思います。一安心というところですね。

最後に、この講演に際し、経営学部の先生方や福山大学と本学の事務の方には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

分析用ソフトウェアの開発状況とよく利用される分析手法、そしてそれを用いたパソコン講座の紹介をすることになりました。具体的には、できるだけ多くの分析手法について、まず概略を説明し、その後ソフトを用いてデモを行う、という進め方です。このようにデモを多く含む講演では、パソコン操作の手際によって観客に与える印象は大きく変わり、時間の調整も難しくなります。今回は事前になら練習したこともあって、(内容はともかく)まずまずの

経営学科

リレー講座を終えて

経営学科 教授 福井 正康

5月26日、「パソコンで学ぶいろいろな分析手法の話」という演題で、リレー講座というものを行いました。これが始められたきっかけはよく分かりませんが、今回福山大学から本学にバトンタッチされ、その最初の講演でした。本学では公開講座という一般向けの講演会があり、当初(今でもですが)違いが分かりませんでした。公開講座は、近隣の年配の方が多く参加されており、教養講座的な色合いを持っています。そこで、このリレー講座は、「働いておられる方への情報提供」、というように勝手に解釈し、現在本学で進めている社会システム



練習し、刺激あいい、お互いにもっともっと強い選手になって、福山平成大学の強さを全国に轟かせていきたいと思っています。

全国大会は9月9日〜11日に熊本であります。全国でしっかりと戦えるように高い目標を持ち、日々の練習に取り組みしていきたいと思っています。

最後まで目標を見失わずに勝つことができました。

1、2年生のころは思うような結果出ず、陸上競技に対して楽しいと思うことが少なかったのですが、だんだん結果が出るようになり、今では楽しくてしかたなくて最高の仲間と毎日練習できることがすごく嬉しいです。仲間のなかに、全国大会に出場する同級生、先輩はたくさんいて、強い意志と高い目標を持った素晴らしい選手がたくさんいます。そんな最高の選手達と

健康スポーツ科学科

「中四インカレでの初優勝」

健康スポーツ科学科 4年 稲角 舞

私は先日行われた第64回中国四国学生陸上競技対抗選手権大会で、女子七種競技に出場し、優勝して念願の日本学生陸上競技対抗選手権大会の出場権を獲得しました。

一種目一種目、本当に緊張する展開で、思うように実力を発揮できないシーンがたくさんあり、ライバルとの混戦で優勝を諦めようかと思う瞬間があり、自分自身の弱さを改めて実感した試合でした。

でも、「冬季から必死に優勝だけを目標に練習をしてきた成果を絶対に出すんだ!」という気持ちと、仲間が本当に応援してくれていたこと、そして同じ仲間が必死に戦う姿を見て、ここで諦められないと強く思い、

看護学科

福山平成大学看護学部看護学科の1期生の就職状況

看護学科 教授 森田 なつ子

福山平成大学看護学部看護学科の1期生が平成23年3月に卒業し、就職・進学それぞれの道に羽ばたいていきました。

就職先は国公立病院や大学病院、一般病院等の医療機関が中心となっています。福山市内では、福山市民病院、公立学校共済組合中国中央病院、独立行政法人国立病院機構福山医療センター、日本鋼管福山病院、社会医療法人祥和会脳神経センター大田記念病院等に就職をしています。地域別で見ると、中国地区、山陰地区、九州地区のほか、関西地区や関東地区へも卒業生が就職をしました。

また、卒業生のうち5名が、福山平成大学助産学専攻科に進学をしています。

5月には関西地区の病院で国立循環器病研究センターに就職した卒業生が勤務状況を報告に大学を訪ねてくれました。勤務部署の状況やプリセプターとともに夜勤に入り始めたこと等を元気に語ってくれました。新人看護師として、病院のユニホームを着用し生き生きと働いている姿が目につくように、熱心に語る姿はとても輝いていました。

ほとんどの卒業生が希望分野での就職を果たしています。就職希望者の就職率は100%を達成しています。

今後は、福山市、広島県はもとより全国各地に渡って、卒業生のネットワークが広がっていくものと期待されます。



こども学科

こども学科棟披露式が開催されました

こども学科 講師 大西 理恵子

5月14日、こども学科棟の披露式が行われました。新しい学科棟は、2011年3月に完成し、明るく開放的で居心地の良い空間、現場感覚を養う充実の実習室を備え、今では保育士・幼稚園教諭・小学校教諭をめざす学生たちの学びの場となっています。

披露式では、ハイロスハイマ幼稚園の園児たちと保護者の方、関係施設・機関の方に多数ご来場いただきました。施設内の見学の後には、本学特任教授である澤崎眞彦先生による『日本人と音楽教育―音楽教育の誕生と唱歌―』の講義が行われ、日本の唱歌の歴史や意味について興味深いお話をいただきました。また、講義では本学の伊藤憲孝講師、神野靖子非常勤講師によるピアノ演奏（伴奏）と独唱も披露され、その後のハイロスハイマ幼稚園児40名との合唱では、子どもたちのかわいらしい歌に、参加者の笑顔が引き出されました。また、会場となった演奏会室はスライド式の窓が開放され、外の芝生に座って演奏を楽しむ参加者の方も見られました。その後の式典においては、学内外の方との交流や意見交換が行われ、学生や教員にとっても貴重な時間を過ごすことができました。

このこども学科棟が地域連携の要として発展し、ここで学ぶ学生が保育・教育の現場でさらに輝いてくれる日を、教員一同楽しみにしています。



コンビニ開店

本学に待望のコンビニが6月3日(月)にオープンしました。コンビニは8号館(食堂)2階を改装し、食料品、飲料水、生活雑貨販売のスペースと文具、書籍販売のスペースを配置しています。また、同じく8号館2階の売店は、学生の憩いの場として「学生ホール」に改装しました。

なお、コンビニの営業時間は、平日AM8:30~PM7:00、土曜日AM8:30~PM2:00までで日曜、祝日はお休みです。

学生で賑わう店内!

品ぞろえも豊富!



男子バレーボール部		
第73回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会（1部） 4/16～5/15 ●広島県立総合体育館他	2位	
第55回中国四国学生バレーボール選手権大会 5/20～5/23 ●高松市総合体育館	3位	
第37回西日本バレーボール大学男子選手権大会 6/23～6/26 ●兵庫県立総合体育館	ベスト16	

女子バレーボール部		
第73回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会（1部） 4/16～5/15 ●広島県立総合体育館他	3位	
第55回中国四国学生バレーボール選手権大会 5/20～5/23 ●高松市総合体育館	ベスト16	
第37回西日本バレーボール大学男子選手権大会 6/24～6/27 ●広島県立総合体育館	ベスト32	

陸上競技部		
第65回中国四国学生陸上競技対校選手権大会 5/13～5/15 ●岡山県総合グラウンド陸上競技場	男子 総合 5位（トラック9位 フィールド4位） 女子 総合 4位（トラック7位 フィールド6位） 円盤投げ 優勝 花村 咲（健3） 七種競技 優勝 稲角 舞（健4） 男子棒高跳び 優勝 辻丸 翔太（健4） 400mH 準優勝 吉岡 史穂（健3） ハンマー投げ 第3位 花村 咲（健3）	
2011日本学生陸上競技個人選手権大会 6/11～6/13 ●平塚市総合公園平塚競技場	400mH 吉岡 史穂 準決勝敗退 110mH 林 亮太 予選敗退 400m 山本 真季 予選敗退	
第64回西日本学生陸上競技対校選手権大会 7/15～7/17 ●岐阜メモリアルセンター長良川競技場	出場	

サッカー部		
2011年度中国大学サッカーリーグ（1部） 4/24～10/30 ●福山平成大学サッカー場他	7位 （全8チーム14試合中7試合消化）	
2011年度中国大学サッカー選手権兼総理大臣杯予選 5/21～5/22 ●やまぐちサッカー交流広場	2回戦敗退	
2011年全広島サッカー選手権決勝大会 6/26 ●福山平成大学サッカー場	1回戦敗退	

剣道部		
第58回中四国学生剣道選手権大会 5/15 ●愛媛県武道館	男子 女子 1・2回戦敗退	
第56回西日本学生剣道大会 5/28～5/29 ●福岡市民体育館	男子団体：1回戦敗退 女子団体：1回戦敗退	
第4回広島県学生剣道大会 6/26 ●広島工業大学	男子団体：1回戦敗退 女子団体：第3位	

全国大会出場

ソフトテニス部（女子）

第31回全日本大学ソフトテニス王座決定戦
6/5～6/8（東京体育館）

陸上競技部

2011日本学生陸上競技個人選手権大会
6/11～6/13（平塚市総合公園平塚競技場）

ソフトテニス部		
第33回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会 第55回中国学生ソフトテニス優勝大会 第13回ソフトテニスシングルス選手権大会 4/30～5/4 ●島根県立浜山公園テニスコート	●団体 男子 1部 準優勝 女子 1部 優勝 ●シングルス 男子 優勝 藤井 康平（こ4）	
第31回全日本大学ソフトテニス王座決定戦 6/5～6/8 ●東京体育館	女子 団体 予選リーグ敗退	
平成23年度西日本学生ソフトテニス選手権大会 6/24～6/28 ●瑞浪市民テニスコート他	出場	

軟式野球部		
第16回中国地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦 3/16～5/21 ●東広島アクアスタジアム他	優勝	
第6回中国地区大学軟式野球連盟新人戦 6/18～6/19 ●広島市立大学グラウンド	優勝	

男子バスケットボール部		
第37回中国大学バスケットボール選手権春季優勝大会 4/30～5/3 ●松江市総合体育館	出場	
第61回西日本バスケットボール選手権大会 5/29～6/5 ●兵庫県立総合体育館	出場	
2011年度中国学生バスケットボール新人大会 6/17～6/19 ●キリンビバレッジ周南市総合スポーツセンター	出場	

女子バスケットボール部		
第37回中国大学バスケットボール選手権春季優勝大会 4/30～5/3 ●松江市総合体育館	出場	
第61回西日本バスケットボール選手権大会 5/29～6/5 ●兵庫県立総合体育館	出場	
2011年度中国学生バスケットボール新人大会 6/17～6/19 ●キリンビバレッジ周南市総合スポーツセンター	出場	

水泳部		
第46回中国四国学生学生水泳選手権大会 6/11～6/12 ●鳥取県営鳥取屋内プール	出場	
第42回中国四国学生水泳選手権水泳競技大会 7/8～7/10 ●くろしおアリーナ（高知県）	●200m バタフライ 6位入賞 竹内 伸成（健4）	

硬式テニス部		
平成23年度中国四国学生テニス選手権大会 6/17～6/22 ●広島大学他	ベスト8 坪田 和也（健2）	

カヌー部		
第32回中国カヌーレガッタ 5/4 ●八千代湖 土師ダム（安芸高田市）	●成年男子 カヤックペア 第2位 立平 諒（健2） 野口 孝一（健1） ●成年男子 カヤックシングル 第2位 野口 孝一（健1）	

ボクシング部		
第38回中国大学ボクシング選手権大会 6/3～6/5 ●広島修道大学	●フライ級 優勝 原 寿文（健3）	

自転車部		
第6回アジアBMX選手権大会 5/18～5/19 ●中国 江蘇省	準優勝 高橋 堅太（健2）	
UCI BMX CROWN HAITAI 6/9～6/12 ●韓国 ソウル	準決勝敗退 高橋 堅太（健2）	
UCI BMX 世界選手権大会 7/27～8/1 ●デンマーク コペンハーゲン	（出場予定）	

学生会執行部		
第35回学長杯争奪競技大会 4/21 ●福山平成大学キャンパス	平成23年度献血活動 6/8 ●福山平成大学キャンパス	

ソフトテニス部 女子 2年連続全国大会出場

箱崎 愛里(健康スポーツ科学科3年次生)



この度、ソフトテニス部女子が島根県で行われた第33回中国学生リーグ戦大会(4/30~5/4)において、昨年度に引き続きリーグ全勝優勝し、東京体育館で行われた第31回全日本ソフトテニス王座決定戦(6/6~6/9)へ出場しました。第33回中国学生リーグ戦大会では、女子は部員数が少ない中、誰が試合に出場できるか分からない緊張感と試合に出場できたときは全力で戦うという気持ちを持って、一戦一戦大切にプレイしました。どのチームよりも気持ちで勝ったことと、選手・応援が一丸となって戦ったことが今回の優勝につながった1番の勝因だと感じています。また、試合をする中で感じたことですが、女子部員より男子部員が多いので、男子といつも一緒に練習をしています。男子の威力のある球で毎日練習することで、女子にはとても力になっていると改めて感じました。男子部員には本当に感謝しています。そして、全日本ソフトテニス王座決定戦の予選リーグでは、松山東雲女子大学と日本体育大学と対戦しました。昨年度は二勝もできませんでしたでしたが、本年度は松山東雲女子大学に勝ち王座初勝利しました。その後の、日本体育大学には負けてしまい予選を上げることは出来ませんでした。1人1人が成長できた大会ではないかと思っています。来年度は、中国リーグで優勝し、王座決定戦での予選リーグ突破、決勝トーナメント進出という目標に向けて練習に励みたいと思っています。

中国学生リーグ戦大会と全日本ソフトテニス王座決定戦に出場することにより、色々な事を学ぶことが出来ました。やはり一番は、周りの方の支えがあつてこそ自分たちであるということです。監督をはじめ、大学関係者のみなさま、保護者のみなさま、男子部員のみならず、いつも応援して下さい。本当にありがとうございます。これからも感謝の気持ちを忘れず、今後の試合に向けて少しでも多く勝てるように挑戦していきますので、これからもご支援、ご指導の程宜しくお願いいたします。

中国学生ソフトテニス選手権大会 結果

■ 女子 1部リーグ

	福平大	広島大	島根大	吉備大	修道大	山口大
福平大		②	③	②	②	③
広島大	1		②	②	1	③
島根大	0	1		1	②	③
吉備大	1	1	②		③	③
修道大	1	②	1	0		②
山口大	0	0	0	0	1	

順位
1. 福平大 2. 広島大 3. 吉備大 4. 島根大 5. 修道大 6. 山口大

平成23年度 福山平成大学一般奨学生 認定式

福山平成大学一般奨学生が前年度の成績を基に、一般奨学生選考会で選考され、本年度は、15名が採用されました。7月6日(水)に開催された一般奨学生認定式では、田口学長から学生一人ひとりに認定書が手渡されました。おめでとうございます。



【平成23年度一般奨学生】

・経営学科	3年次生	1名
	4年次生	3名
・福祉学科	4年次生	1名
・こども学科	2年次生	1名
・健康スポーツ科学科	2年次生	2名
	4年次生	3名
・看護学科	2年次生	1名
	3年次生	1名
	4年次生	2名

(一般奨学生は、当該年度の授業料のうち30万円を減免)

平成23年度 保証人懇談会 開催

本学では、例年、学習状況・生活態度等について保証人と教員との個別懇談を行っていましたが、昨今の「不景気」で学生の就職活動が早まっている状況を踏まえて、昨年度から就職関係をプラスすることとなり、懇談会の中身がより一層充実したもので教員と保証人の方との懇談ができるようになりました。

また、より多くの保証人の方へ出席していただけるように懇談会の開催を土曜日及び日曜日に設定いたしました。

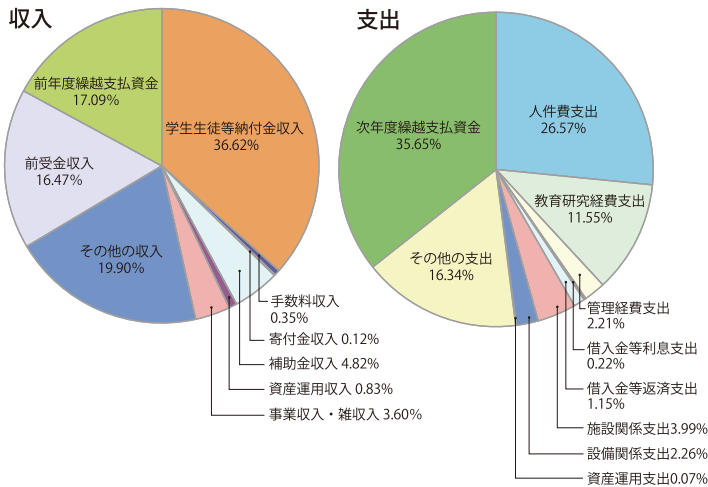
保証人懇談会会場(開催地:会場)

8月21日(日)	広島: 広島ガーデンパレス
8月27日(土)	福岡: 福岡リーセントホテル
8月28日(日)	松山: にぎたつ会館
	松江: サンラポーむらくも
	岡山: ピュアリティまきび
9月 3日(土)	福山: 福山平成大学
9月 4日(日)	福山: 福山平成大学

2010年度 学校法人福山大学財務状況

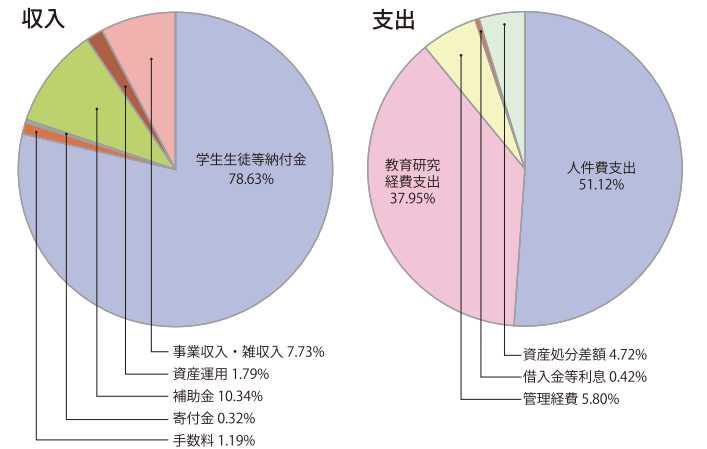
資金収支計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,103,296,156	人件費支出	3,702,433,633
手数料収入	77,091,820	教育研究経費支出	1,609,082,909
寄付金収入	16,599,020	管理経費支出	308,438,405
補助金収入	670,994,044	借入金等利息支出	30,028,044
資産運用収入	115,753,721	借入金等返済支出	159,730,000
事業収入	55,418,900	施設関係支出	555,354,500
雑収入	446,225,309	設備関係支出	315,170,369
前受金収入	2,294,763,550	資産運用支出	9,073,661
その他の収入	2,773,349,157	その他の支出	2,277,573,647
資金収入調整勘定	△ 2,696,842,226	資金支出調整勘定	△ 73,278,211
前年度繰越支払資金	5,078,745,863	次年度繰越支払資金	5,041,788,357
収入の部合計	13,935,395,314	支出の部合計	13,935,395,314



消費収支計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	5,103,296,156	人件費	3,692,990,653
手数料	77,091,820	教育研究経費	2,741,452,581
寄付金	20,919,895	管理経費	419,236,426
補助金	670,994,044	借入金等利息	30,028,044
資産運用収入	115,920,855	資産処分差額	340,966,858
事業収入	55,418,900		
雑収入	446,234,507		
帰属収入合計	6,489,876,177		
消費収入の部合計	6,489,876,177	消費支出の部合計	7,224,674,562
		当年度消費収支差額	△ 734,798,385



資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとはなっていませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目説明(科目は抜粋)

収入の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
学生生徒等納付金収入	授業料収入	各種講座料等を含む
	実験実習料収入	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む
手数料収入	入学検定料収入	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入
	試験料収入	再試験等のために徴収する収入
	証明手数料収入	在学証明等の証明のために徴収する収入
寄付金収入	特別寄付金収入	主に研究助成を用途とした寄付金
補助金収入	国庫補助金収入	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む
資金運用収入	受取利息・配当金収入	預金利息、債券の利金
事業収入	補助活動収入	学生寮の寮費収入
	受託事業収入	受託研究料
前受金収入	授業料前受金収入	翌年度の学生生徒等にかかる学生生徒等納付金収入
	補助活動前受金収入	翌年度の学生寮の寮費収入
その他の収入	前期末未収入金収入	前会計年度における未収入金の当該会計年度における収入

支出の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
人件費支出	教員人件費支出	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及び並びに所定福利費をいう。
	職員人件費支出	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費支出	奨学費支出	奨学生の奨学金
施設関係支出	構築物支出	庭園等の土木設備又は工作物をいう。

消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度に帰属する収入から、基本金として支出した金額を控除した消費収入と人件費や教育研究経費などの消費支出を対比し、その均衡状況を示すとともに学校法人の経営状況を明らかにするものとされています。企業会計の損益計算書に近いものですが、損益計算書では計上対象とならない資本金の支出が、消費収支計算書では基本金組入額として計上されている点が異なります。

科目説明(科目は抜粋)

収入の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
学生生徒等納付金	授業料	各種講座聴講料等を含む
	実験実習料	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む
手数料	入学検定料	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入
	試験料	再試験等のために徴収する収入
	証明手数料	在学証明等の証明のために徴収する収入
寄付金	特別寄付金	主に研究助成を用途とした寄付金
補助金収入	国庫補助金	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む
資金運用収入	受取利息・配当金	預金利息、債券の利金
事業収入	補助活動収入	学生寮の寮費収入
	受託事業収入	受託研究料
雑収入		学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいう

支出の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
人件費	教員人件費	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及び並びに所定福利費をいう。
	職員人件費	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費	奨学費	奨学生の奨学金
	減価償却費	教育研究用減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
管理経費	減価償却費	教育研究用減価償却資産以外の減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
資産処分差額		資産の帳簿残高が当該資産の売却収入金額を超える場合のその超過額をいい、除却損または評価損を含む。

貸借対照表

(平成23年3月31日)

(単位 円)

資産の部		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	62,285,953,274	負債の部	
有形固定資産	31,273,314,482	固定負債	2,728,635,843
うち土地	6,885,223,494	うち長期借入金	1,105,240,000
うち建物	15,641,875,303	うち退職引当金	1,567,120,505
うち構築物	1,181,289,926	うち長期未払金	56,275,338
うち教育研究機器備品	3,178,074,903	流動負債	2,643,767,484
うちその他の機器備品	18,828,119	うち短期借入金	159,550,000
うち図書	4,360,518,282	うち未払金	92,825,447
うち車両他	7,504,455	うち前受金	2,294,763,550
		うち預り金	96,628,487
その他の固定資産	31,012,638,792	負債の部合計	5,372,403,327
うち退職金引当資産	1,519,016,830	基本金の部	
うち減価償却引当資産	14,817,708,385	第1号基本金	47,745,973,411
うち校舎建設等引当資産	8,320,910,466	第4号基本金	407,000,000
うち創設準備引当資産	6,318,065,265	基本金の部合計	48,152,973,411
うち保証金他	36,937,846		
流動資産	5,666,848,819	消費収支差額の部	
うち現預金	5,041,788,357	翌年度繰越収入超過額	14,427,425,355
うち未収入金他	625,060,462		
資産の部合計	67,952,802,093	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	67,952,802,093

貸借対照表

科目説明(科目は抜粋)

資産の部		
大科目 中項目	小 科 目	備 考
固定資産		
有形固定資産		貸借対照表日後1年を超えて使用される資産をいう。耐用年数が1年未満になっているものであっても使用中のものを含む。
	建物	建物に附属する電気、給排水、暖房等の設備を含む。
	構築物	庭園等の土木設備又は工作物をいう。
	教育研究用機器備品	標本及び模型を含む。
その他の固定資産		
	電話加入権	加入電話等の設備負担金額をいう。
流動資産		
	未収入金	学生生徒等納付金、補助金などの貸借対照表日における未収入額をいう。
	有価証券	一時的に保有する有価証券をいう。

科目説明(科目は抜粋)

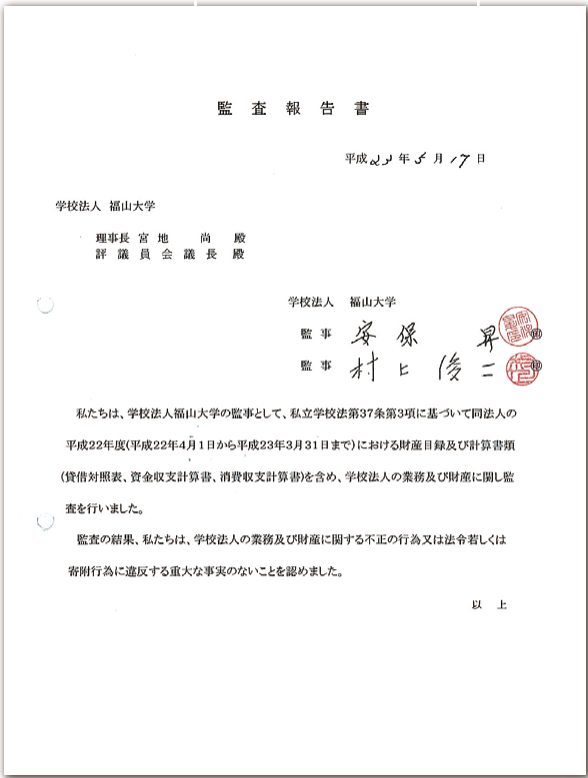
負債の部		
大科目	小科目	備考
固定負債		
	長期借入金	その期限が貸借対照表日後1年を超えて到来するものをいう。
	退職給与引当金	退職給与規程等による計算に基づく退職給与引当額をいう。
流動負債		
	短期借入金	その期限が貸借対照表日後1年以内に到来するものをいう。
	預り金	教職員の源泉所得税、共済掛金等の預り金をいう。

財産目録

(平成23年3月31日)

(単位 円)

Ⅰ 資産		67,952,802,093
1. 固定資産		62,285,953,274
土地	大学敷地他 337,887㎡	6,885,223,494
建物	大学校舎他 145,742㎡	15,641,875,303
構築物	道路舗装外	1,181,289,926
教育研究用機器備品	パソコン他	3,178,074,903
その他の機器備品	学食厨房機器他	18,828,119
図書		4,360,518,282
車両		7,504,355
船舶		100
電話加入権		3,048,426
施設利用権		700
保証金		33,600,720
敷金		288,000
退職給与引当特定資産		1,519,016,830
減価償却引当特定資産		14,817,708,385
校舎建設等引当特定資産		8,320,910,466
創設準備引当特定資産		6,318,065,265
2. 流動資産		5,666,848,819
現金・預金		5,041,788,357
未収入金		453,689,476
有価証券		131,167,332
前払金		40,089,292
仮払金		114,362
Ⅱ 負債		5,372,403,327
1. 固定負債		2,728,635,843
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団	1,105,240,000
退職給与引当金		1,567,120,505
長期未払金		56,275,338
2. 流動負債		2,643,767,484
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団	159,550,000
未払金		92,825,447
前受金		2,294,763,550
預り金		96,628,487
Ⅲ 正味財産（Ⅰ－Ⅱ）		62,580,398,766



平成24年度 入学試験日程

一般選抜入試

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
推薦入試 A 日程	11月 6日(日)・7日(月)	全学部	10月13日(木)～11月 1日(火) 消印有効	11月10日(木)	11月21日(月)
推薦入試 B 日程	12月10日(土)	全学部	11月24日(木)～12月 7日(水) 消印有効	12月14日(水)	12月26日(月)
前期入試 A 日程	1月31日(火)・2月 1日(水) 2月 2日(木)・ 3日(金)	全学部	1月 5日(木)～ 1月26日(木) 消印有効	2月 8日(水)	2月20日(月)
前期入試 B 日程	2月21日(火)	全学部	2月 4日(土)～ 2月16日(木) 消印有効	2月24日(金)	3月 5日(月)
後期入試	3月13日(火)	全学部	2月25日(土)～ 3月 8日(木) 消印有効	3月16日(金)	3月26日(月)
センター利用入試(前期)	個別学力試験は課さない	全学部	1月 5日(木)～ 1月26日(木) 消印有効	2月 8日(水)	2月20日(月)
センター利用入試(後期)	個別学力試験は課さない	全学部	2月25日(土)～ 3月 8日(木) 必 着	3月16日(金)	3月26日(月)

※ 備考 : 平成23年度 大学入試センター試験日程 1/14(土)・1/15(日)

AO入試

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
I 期	10月 8日(土)	経営 福祉健康	9月26日(月)～10月 5日(水)	10月14日(金)	10月21日(金)
II 期	12月17日(土)		12月 5日(月)～12月13日(火)	12月21日(水)	1月11日(水)
III 期	3月13日(火)		2月29日(水)～3月 8日(木)	3月16日(金)	3月26日(月)

- エントリーシートの提出 第I期 8/ 1(月)～9/ 7(水) 第II期 10/ 7(金)～11/16(水) 第III期 1/ 6(金)～2/15(水)
- 事前面談 第I期 ～9/14(水) 第II期 ～11/24(木) 第III期 ～2/22(水)
- 面談結果通知 第I期 9/24(土) 第II期 12/ 3(土) 第III期 2/27(月)

オープンキャンパス

本学では、高校生や保護者の方に、学内の施設見学や模擬講義、実習・演習を体験してもらうために、7月2日(土)から見学会および体験入学会を実施しております。「見学会」では、全天候型陸上競技場や人工芝サッカー場を始め、34種47台のマシーンを設置してあるトレーニングルーム、2棟ある体育館、最新設備の整った看護学部棟、昨年度末に竣工したこども学科棟などの施設見学を主にを行います。また、「体験入学会」では、全体会で入試日程や入試方法の説明行われた後、各学科に分かれて模擬授業ならびに模擬実習・演習を行います。各学科での模擬実習・演習では、本学学生も参加し、高校生にも分かりやすいよう、親切丁寧に指導しています。なお、オープンキャンパスは、下記の日程で実施されています。



- オープンキャンパス日程 ●●●
- 見学会……………第2回 9月10日(土)
 - 体験入学会…第1回 7月30日(土)
 - 第2回 8月27日(土)

御幸五訓

- 一、真理を求め、道理の実践を志向する。
- 二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- 三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
- 四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育む。
- 五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

miyuki letter

編集 福山平成大学広報委員会

発行 福山平成大学

発行日 2011年 7月 25日

ホームページ <http://www.heisei-u.ac.jp/> 福山平成大学 検索

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
Tel.084-972-5001(代表) Fax.084-972-7771